

# 「紀北農業者の会」でセレベスの販売開始

「紀北農業者の会<sup>※1</sup>」は今年から、近年ほとんど栽培されなくなっていた地域特産物である「セレベス」（里いも）の復活栽培に取組み、このほど、当会の目玉商品として販売を始めました。

「セレベス」はインドネシア原産で、雨の多い当地に適した作物として、約40年前に町が普及、当時は、京都市場へも出荷され、精進料理にも活用されていました。その後、栽培者の減少等によりほとんど市場に出回らなくなりましたが、今でも朝市の来場者からは、昔なつかしい味を求め、販売が望まれていました。

今回の「セレベス」の販売にあたり、「地域活性化プラン<sup>※2</sup>」の支援事業を活用し、当会オリジナルシールや、若い世代への販売拡大を視野に入れた料理レシピなどを作成しました。

「セレベス」は「さくらファーム」の他、尾鷲市の地場産品直売所「おとと」でも購入することができます。



オリジナルシール「紀北セレベス芋」



「セレベス」

※1 会員60名：平成20年に紀北町と尾鷲市で専業、家庭菜園を問わず農業に携わっている人たちが中心となって結成された組織で現在会員は60名。

また、平成21年には農産物の販売拠点として、「さくらファーム」を紀北町相賀に開設し、毎週、水曜日と日曜日に朝市を開いています。

※2 「地域活性化プラン」とは、平成22年12月に施行された「三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する条例」に基づき、農村地域団体による地域の特性を生かした将来ビジョンとして策定されたもので、三重県ではプランの目標達成へ向けた支援を行っています。